

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者が高齢になるにつれ、戸外の行きたい所への外出が出来なくなっている。	戸外へ出かけられるよう支援の回数を増やす。行事としての外出目標を、1年間で8回以上とする。	行事として、月一回は外出の支援をしているが、個々の家族等の希望があれば、短時間でも戸外に出かけられるように支援する。	12 か月
2	43	排泄の失敗をする方が多くなり、おしめ使用者が増加している。	毎年、おしめ使用者及び回数が増えてきたので、使用者又は、回数を減らすもしくは、現状維持を目指す。	定期的なトイレ誘導、声かけを行う。また、内服薬のある方は、服薬時間を調節し、トイレにて排泄出来る様に支援する。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。